

博物館 topics

那覇市歴史博物館

那覇市歴史博物館企画展

首里・那覇のお菓子たち

1879年(明治12)の琉球処分(沖縄県設置)以降も、お菓子といえは、歳日の祝儀菓子や焼香などに用いる法事菓子でした。大正・昭和初期のお菓子の新聞広告を見ると、かん、カステラ、押し菓子(糕菓子)など、いわゆる行事(祝儀・法事)菓子のお店がほとんどです。



の饅頭と山城饅頭
〔琉球菓子〕沖縄タイムス社より



大正11年の新聞広告

一方、当時、庶民に喜ばれたのは饅頭類で、現在も売られている「の饅頭」・「山城饅頭」・「天妃の前」・「饅頭」は安さで人気があったといえます。小豆あんが入った「今川焼」はよそから入ってきたハイカラなお菓子で、学生に人気があったといえます。子どもたちにも遠足など特別な時は「ミルクキャラメル」や「ボンタンアメ」などハイカラなお菓子が受けたようです。

●ギャラリートーク

回 9月1日(土) 14時～15時30分
「王国時代の琉球菓子」
〔講師〕安次富順子氏
(安次富順子食文化研究所所長)

回 9月9日(日) 14時～15時30分
「老舗菓子店のこれまでとこれから」
〔講師〕村吉政人氏(南島製菓代表取締役)

申 不要。ただし、観覧料350円が必要

国宝尚家資料9月の特別展示

「白地の紅型衣裳」

期 8月31日(金)～9月24日(月)

那覇市歴史博物館(パレットくもじ4階)
開館時間10時～19時 木曜休館
観覧料 一般350円(大学生以下 無料)
☎8699・5266 FAX 8699・5267

壺屋焼物博物館

考古学から見た首里

那覇市首里は、450年にわたって存続した琉球王国の王都であり、伝統的な建造物や歴史的景観を留めた古都の佇まいは多くの人々を惹きつけています。今日では首里城跡、園比屋武御嶽石門、玉陵が世界遺産に登録され、沖縄の歴史・文化の拠点として世界的にも注目されています。

近年、首里では開発に伴う考古学的発掘調査が多く実施されており、琉球王国時代の遺構や、さらに古い時代の遺跡が地下に眠っていることが明らかになってきています。本企画展では、そうした首里における近年の考古学的発掘調査成果を紹介いたします。



切り割られた重圓鏡片
(崎山御嶽遺跡出土)

学芸員と展示を見よう

学芸員と展示を見よう

学芸員が毎月テーマに沿って常設展示の解説をいたします。9月は近代に入って新たに壺屋でうまれたヤチムン「古典焼」を紹介いたします。

琉球処分により沖縄県が日本の一部となると、県外向けのお土産品として「古典焼」が登場しました。今回は「古典焼」登場の背景と製作に携わった人々についてご説明いたします。

回 9月16日(日) 10時～※1時間程度

費 常設展の観覧料(大学生以下無料)

申 不要。1階受付前にお越しください。

開館時間10時～18時(入館は17時半まで)
月曜休館 ※ただし、月曜日の場合は開館
常設展観覧料 一般350円(大学生以下 無料)
☎8623・3761 FAX 8623・3762

走ること、かけ足。かけつこは「はーえーすーぶ」という。「はーえーこんこん」とは、必死になつて走っている様子のこと。

監修 那覇市文化協会うちなーぐち部会
【お問い合わせ】那覇市文化協会 ☎8611・9009

なは NEWS Digest

なはのホットな話題は市FacebookやLINE@で



7/30～8/7 城間市長 姉妹都市の名誉市民に ～ブラジル・サンビセンテ市を訪問～

今年は、那覇市とブラジル連邦共和国サンパウロ州サンビセンテ市の姉妹都市提携40周年。そして、ブラジルへの移民110周年の年です。

城間市長ら訪問団がブラジル・サンビセンテ市を訪問しました。両市の友好親善交流に貢献したとして、サンビセンテ市議会から名誉市民の称号を授与された城間市長は、「お互いの絆を後世につないでいくことが、私たちの役目だと考えています」と挨拶しました。

また、サンパウロ州からは城間市長にイピランガ勲章のグランデ・オフィシャルが贈られました。



8/5 国際通りに響くエイサー太鼓 ～2018夏祭りin那覇 「万人のエイサー踊り隊」～

毎年恒例の「万人のエイサー踊り隊」が国際通りで開催されました。

今年のテーマは「伝統 VS 創作」。パレットくもじ前から牧志駅にかけて、国際通り8か所に設けられた演舞場では62団体、約2,000人が演舞を披露しました。

真夏の空の下、鳴り響く太鼓の音と指笛、「イーヤーサーサー」の掛け声に大人も子どもも大興奮。演舞が始まると人垣はどんどん増え、撮影しようとカメラを高く掲げる観光客の姿も数多く見られました。



8/12 200年以上続く伝統行事 ～松川大綱引～

田んぼや畑が多かった約200年前、住民が五穀豊穡を願って始めたのが起源という、松川大綱引。松川公民館前には、子どもたちからお年寄りまで地域のみなさん約200名が集まりました。

城間市長は、「伝統行事を通して、子どもたちの地域への愛着が育まれると思います。地域のみなさまの心のよりどころとしてこの大綱引が発展していくことを期待しています」と挨拶しました。

太鼓の演舞などで会場を盛り上げた後、全長50メートルの綱を東西に分かれて一斉に引き合いました。今年は1勝ずつの引き分けとなりました。

広告

司法書士が 無料で相談に応じます。

- 相続、贈与と遺言
戦争で戸籍を失っていても、判決を得て相続登記できる場合があります。家裁の手続き、遺言書作成など、ご相談下さい。
- 成年後見
多数の後見人を務める司法書士が、実務をふまえて説明します。
- 差押・仮差押・仮処分
預金、給料、売掛金、財産など、押さえたい方へ。
- 日常生活の法的トラブル
商品の代金が払われない、貸したお金を返してくれない、敷金を返してもらえない、家賃を払ってくれないなど。
- 借金に関すること
- 不動産登記
- 会社の登記や企業法務

よへな司法書士事務所

〒900-0032 那覇市松山1-30-1 2F 営業時間：午前9:00～午後6:00(土日祝休み)

沖縄の相続と遺言どっとこむ または 成年後見はやわかり沖縄 でHPをご覧ください。

☎0120-309-157 ※相談には電話予約が必要です。

